

令和7年4月28日

futbol y vida

Poco a poco ...
boco y boco ...



インターハイ予選初戦勝利!!

次戦が予選の最大の山場、創価高校戦!!

2025シーズン初の公式戦 インターハイ西支部予選がスタート!!

初戦 VS 青梅総合に勝利するものの課題は山積!! 次戦は厳しいゲーム必至!!

4月27日(日) インターハイ予選が都内各会場でスタートしました。片倉高校は、ホームグラウンドで初戦**青梅総合高校**と対戦しました。前顧問の中馬先生のころは、年に二回TRMを行っていました。今日も当時の**OB**や**OG**が後輩の応援に来るなど、四月に他校へ異動されましたが彼がゼロから作ったチームにはその**熱い魂**はまだ子どもたちの心に脈々と受け継がれています。どんなゲーム展開になっても最後まで諦めずに闘ってくるチームであると組み合わせが決まってから子どもたちには話をしてきました。今日のゲームもまさにその彼が残した財産が垣間見られ、選手同士が叱咤激励し合いタイムアップのホイッスルまで走り続けていました。清々しい素晴らしいチームです。



🌐 2025 インターハイ予選がスタート 🌐

さて、チームは先週のTリーグのゲームで抽出された課題を中心に、一週間トレーニングをしてきました。特に、ゴール前のフィニッシュの精度を上げていかなければ、公式戦では結果に繋がりません。サッカーではゴールを奪うことが一番難しく、時間とスペースのない中で相手のプレッシャーをイメージしながら足を鋭く振りぬくシュートトレーニングは難しいものです。どこまでリアリティを作れるのか?再現性を作れるのか?常にゴール(シュート)を意識してプレーしている選手がいるのか?サッカーの世界ではシュートをいかにたくさん決められるかが永遠の課題であり、やはりストライカーのいるチームは最後に勝利を掴み取るのです。

我武者羅に頑張る選手たちに太刀打ちできない選手たち

今日のゲーム(**7-0勝利**、**シュート19本**、**CK12回**)では、点差が開いても一点を取りに最後まで諦めずに頑張る相手の選手たちの圧力に負けて腰が引けてしまうものが見受けられました。これだけ時間をかけて丁寧にコーチングスタッフの指導を受けているにも拘らず必死に立ち向かってくるものに、尻尾を振って逃げてしまうプレーは正直情けないです。相手チームにも失礼だと思います。これは、本気で物事に臨みチャレンジした経験がないからだからだと思います。俗にいう「甘ちゃん」です。片倉高校は練習量やTRMの数などサッカーの経験則は断然上だと思います。なぜ心の余裕(安定?)が育たないのか?不思議です…。

自信とは日々の積み重ねの中で自分自身の力で培っていくものだと思います。目標に向かって成功体験も大切な要素ですが、物事は全て上手くいくことばかりではありません。私の経験から

申しますとどちらかというと失敗してきたことの方が多いように思います。その失敗から何を学ぶか？何度失敗しても諦めずに継続していくことで、気付くこと、見えてくることがあります。しかし、勝負（闘い）から逃げていたら逃げ癖がついてしまい、一生逃げ続けることになります。繰り返しになりますが結果が全てではなく、そこまでの過程を大切に、最後まで諦めずにやり遂げたということを自信に変えて欲しいと思います。



🌐 いつも応援ありがとうございます 🌐

次戦シード校の創価高校(T3)。リスクを恐れず *K's football style* で当たって砕ける

二回戦の対戦相手は、シード校であり T3 リーグに所属する創価高校です。現在リーグ戦は二勝一敗と好調を維持しています。最近 10 年間は都大会常連であり、サッカー部の寮もあることから選手も全国から集まり、学校のバックアップを受けてチームの強化に当たっています。顧問の金子先生は東京都の技術委員も務めていて、東京選抜のコーチや東京全体の競技力向上のために精力的に活動されるなどとても勉強熱心な方です。尚且つ、創価の選手は与えられたタスクに対して徹底できるチームであり、次戦は厳しい闘いとなることは必至です。

片倉高校サッカー部でトレーニングしてきたことを公式戦で発揮できるように、中一日で迎える公式戦ですがコンディションを整えて全力で挑みたいと思います。

🌐 リスクを冒せ 🌐 by イビチャ・オシム

リスクを冒したプレーをせよ

「サッカーとは危険を冒さないといけないスポーツ。それがなければ塩とコショウのないスープになってしまう。」

リスクを冒すのは勝負に勝つために有効な手段ですが、だからと言ってそれがベストの戦術だという訳ではありません。リスクを冒すのは、勝つことを目的とするよりも究極には観客を喜ばせるために有効だからとオシム氏は考えています。

「観客やサポーターが一体何を望んでいるのか、そして何が目的なのかとうことだ。サッカーとは攻撃と守備から成り立っているもの。方法論はいろいろとあるが、私としては、いる選手がやれる最大限のことをして、魅力的なサッカーを展開したいと思っている。そのためには、リスクはつきものだ。」

選手は、トレーニングでやったことしかできません。日頃のトレーニングの積み重ねがゲームに現れます。New football style を取り入れて三年目になりますが、失敗が続く正直苦しい時期もあります。しかし、そこで諦めずに課題を抽出し成功できるまでやり続けていきます。

明日の創価戦はどんなゲーム展開になるかわかりませんが、リスクを冒してでも今まで通りの *K's football style* 真っ向勝負で挑みたいと思います。応援よろしくお願いいたします。

<After the Game>

インターハイ予選二回戦が今回は日本工学院八王子専門学校グラウンドで行われます。十数年ぶりに会場で使用しますが張り替えたばかりの人工芝でとても素晴らしい環境で公式戦ができるのですから羨ましい限りです。 *K's football style* で会場を沸かせたいと思います。